企業・団体名（　谷川商事株式会社　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・就業規則において明記されています。 ・最低賃金の見直しを年2回実施しています。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・ハラスメントについても就業規則内にしっかりと明記を実施しています。 ・総務部を窓口とした相談体制を構築し、厳格に運用されています。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・勤怠管理はタイムカード方式を採用しています。 ・時間外労働が必要な際は16時までに事前申請を行う体制を敷いています。 ・労働時間の適切な管理については、経営側にて強い意志を持って取り組んでいます。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・現時点での受入実績や受入予定はありませんが、就業規則に明記されている通りに、差別なく厳格な運用を図る体制が整っています。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・社員の労働安全衛生には重点的に取り組んでいます。 ・作業において階段の利用等が負担な場面では、作業場所を１Ｆに変更するなど、適宜対応を行っています。 ・社内教育については今後の課題として認識しています。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・休暇や時短勤務体制は柔軟な対応が図れる体制が整備されています。 ・社内における研修等は未実施であり、今後の課題として認識しています。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・全社員41名中、27名が女性社員と女性の活躍が出来る職場となっています。 ・女性の管理職登用についても本人の意思を確認する中、積極的に実施しています。 ・高齢者の採用については本人の意思を確認する中、積極的に再雇用を進めています。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・年1回の健康診断受診義務付けています。 ・就業前には、全員でラジオ体操を行い、体を温めることで事故等の防止にも対策を行っています。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・業務で必要な資格等は全額会社負担にて取得を進めています。 ・業務は全てマニュアル化を進めており、誰でも業務が実施できる体制が整備されています。				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済									○		○							
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・生産管理課を中心に製造予定表などを活用し、厳格な管理が行われています。 ・商材は2次利用可能なものの取扱いを中心としており、ロス等が発生しない体制が構築されています。											○	○		○			

12	環境	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・照明のLED化等は今後の課題として認識していますが、不必要な電気の削減を実施するなど社内でのエネルギー削減に取り組んでいます。 ・エネルギー量は毎月の経営会議内でもと取り上げ、都度、内容の把握と対策を検討しています。							○						○				
13	環境	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・排出量の把握等は今後の課題として認識しています。 ・空調等の利用方法に対して工夫を行い、不必要な空調等は使用しない等の対応が実践されています。							○					○	○				
14	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・営業活動において有害化学物質等が発生する場面はありません。 ・商材の仕入れ等にあたっては、認証材等の利用を推進しています。			○			○					○	○					
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・材料のうち木材は、FSC認証材の利用と環境に配慮し、木材の生産から利用までの循環に貢献できる産地からの仕入れを徹底しています。						○								○		
16	環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・エネルギーと同様に毎月の経営会議内で使用料の把握と対策を実施しています。 ・当社の事業過程において排水が発生する場面はありません。 ・節水等の取り組みは、今後の取り組み項目として検討を始めています。						○										
17	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・ISO14001を取得した経緯があります。 ・社内においては取得時に構築した管理体制が、現在も徹底されています。			○			○	○					○	○	○	○		
18	環境	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境													○					
19	環境	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・現時点において再生可能エネルギーの利用や活用は未対応です。 ・費用対効果を見極める中で、今後の検討事項の一つとして認識しています。							○						○				
20	環境	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・FSC認証材料の積極的な活用を推進しています。 ・印材については、希少資源の代替としてチタン材などを積極的に取り入れています。 ・認証材を活用することで非合法材の排除に努めています。												○	○	○	○		
21	環境	【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・社内メールをフル活用することで、会議資料から伝達事項までペーパーレス化に積極的に取り組んでいます。						○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・就業規則内に明確な記載があります。 ・懲罰委員会の設置も行われており、社内では、しっかりとした運用が図られています。																○	
23	公正な事業慣行	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・就業規則内に明確な記載があります。 ・懲罰委員会の設置も行われており、社内では、しっかりとした運用が図られています。																○	
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・権利化された財産だけでなく、社内のノウハウなども、重要な知的財産であることを認識し、ノウハウや知識の適切な取り扱いを心掛けています。								○	○								
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・社内においてメール送信を行う場合は、事前にアドレスを登録することを必須としています。 ・また受信メールにおいて、知らないアドレスからのアクセスは行わないことを徹底しています。 ・ウイルス等の対策は一般的な程度で厳密に実施しています。																○	
26	公正な事業慣行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																	○	
27	公正な事業慣行	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	・SDGｓの重要性を理解し、受注先からの求めに答えるだけでなく、発注先に対してもSDGｓの取組みを啓蒙し、取組みの拡大に注力しています。					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・商品ごとに必ず説明書を作成しています。 ・出荷時には全量検査の徹底を行っています。			○									○					
29	製品・	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・不具合やクレーム等が発生した場合は、必ず苦情等報告書の作成を行い、周知とともに情報の蓄積も行っています。									○								

30	サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・FSC認証材を活用した製品づくりの徹底と、商品を長く利用してもらうことに着目した製品開発を行っています。 ・印材については、彫り直しを受付、長く利用して頂くことを提案しています。						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・WWFと強調した製品展開を行い、例えば絶滅危惧種への支援を実施しています。 ・また地域内における間伐材の利用検討や森林の循環に貢献できる材料の利用を推進しています。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・地域内企業の商材を当社の版権等を活用し、販売促進する取り組みを進めています。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・中学校の職場見学を経常的に受入れています。 ・また地域振興のため、ふるさと祭り等への寄付を積極的に行っています。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	・ふるさと納税に対する商品提供を実施し、地域内企業の製品とのコラボ商品を積極的に提供しています。								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・毎朝の朝礼や現場ごとのミーティングを利用して、経常的に徹底を図っています。 ・経営理念についても、毎日読み合わせを行うことで、社員への浸透に努めています。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念に基づき、FSC認証材を活用した企画立案などを実施しています。 ・社内の状況等についても、社員向けのメール等を活用し、社内での情報共有に努めています。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・毎朝の朝礼や現場ごとのミーティングを利用して、経常的に徹底を図っています。 ・経営理念についても、毎日読み合わせを行うことで、社員への浸透に努めています。																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																	○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																	○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会																	○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・SDGｓの重要性を理解し、受注先からの求めに答えるだけでなく、発注先に対してもSDGｓの取組みを啓蒙し、取組みの拡大に注力しています。																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・BCP計画は必要性を感じているも策定が出来ておらす、今後の課題として認識しています。 ・防災グッズに関しては、簡易型の発光材を中心に行っています。									○		○		○			○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済									○	○								○

【記載留意事項】

・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17